

### ①活動概要

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ シーニックカフェプロジェクトでは、既存店舗を活用し、連携した地域情報拠点づくりを行っている。現在、参加カフェは4つであり、定期的にカフェスタッフミーティングを開催し、ドライブが楽しくなる様な企画検討・実施を行っている。今年度は、「Clear Stream Map (手づくりマップ) の作成配布」「オリジナルグッズ“あなたの想いと繋がるエコバッグ”」の販売試行、地域振興イベント「オータムフェスタ2009」の企画、夜間店舗の利活用として「シーニックナイトカフェの営業」等を実施した。

### ②活動の体制



### シーニックカフェ



### ③苦勞した点や工夫した点

【工夫した点】シーニックカフェスタッフが「自ら発案」できる体制をつくり、現場の意見（来訪者のニーズ）を柔軟に受け止めている。  
 【苦勞した点】活動費を最小限に抑えた活動を実施しているが、資金捻出に苦勞している。

### ④活動の効果

ルート内4つのカフェが地域情報拠点として、情報提供や広報PRを連携実施し、周遊観光の促進に繋がっている。ミーティング等の実施により、カフェスタッフのおもてなしに対する意識が向上し、きめ細かい対応に繋がっている。また、今年度は地域振興イベント「オータムフェスタ2009」を企画（実施主体はルート運営委員会）するなど、ルート活動の中核を担う存在になりつつある。

### ⑤今後の活動

ルートの地域情報拠点として情報提供の充実を図ると同時に、「地域振興の拠点」を目指したい。地域振興に繋がる企画立案・実施やオリジナルグッズ（食品なども含）の検討及びルートの環境保全に繋がる活動等を実施し、地域ブランドを形成したい。

様式2 (★指定ルート)

ベストシーニックバイウェイズ・プロジェクト2009

ルート名	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ		
活動の名称	民間情報拠点“シーニックカフェ”の連携した取り組み		
活動期間	平成19年度～現在(3年目)		
評価の視点	①活動の持続性、②活動の地域への浸透・波及、 ③ルート運営の基盤強化、④ブランド形成・活用、⑤人材育成の充実、 ⑥その他シーニックバイウェイ北海道の推進への寄与		
1. アピールポイント	<p>●シーニックカフェとは？</p> <p>釧路ルートにおける、民間情報拠点連携による「シーニックカフェプロジェクト」の取り組みは、平成19年より開始され、今年で3年目を迎える。20代のカフェスタッフが中心となり、年2回程度のカフェスタッフミーティングを開催しながら、ドライブが楽しくなる様な企画検討・実施を行っている。</p> <p>●これまでの取り組み</p>		
			
カフェスタッフミーティングの開催(H19～)	カフェスタンプラリーによるルート内回遊促進(H19～)	共通ラックでのルート内観光情報発信(H19～)	「おもてなしブック」による観光案内のレベルアップ(H20～)
●平成21年度にスタートした取り組み	<p>①Clear Stream MAP(手づくりマップ)の作成配布</p> <p>来訪者のニーズや地域特性を活かした、オリジナルフリーマップの作成をスタートした。マップはwordで作成し、来訪者のニーズに応じて、柔軟にブラッシュアップが出来る仕組みとしている。現時点では、「移動ルート&amp;距離早見マップ」「ビギナーズドライブマップ」をカフェに設置し、ビューポイント等への誘導を図っている。</p>		
	 <p>移動ルート&amp;距離早見マップ</p>		
②オリジナルグッズ“あなたの想いと繋がるエコバッグ”の企画販売	<p>シーニックカフェを「地域の想いを伝える場にしたい」という意向から、ルート内のCO2削減を目的とし、苗木一本分の寄付代金込みのエコバッグを企画し、カフェ毎のカラーとロゴのデザインで販売している。受け取った寄与は、来春以降の「ルート内植樹祭」で使用する予定である。なお、バッグには寄与証明書を添付し、購入者のうち、希望者は植樹祭に参加していただける仕組みとなっている。</p>		
	 <p>販売の様子(cafe kaiyodai)</p>		